
◆ 目次 ◆

- 1 「伊澤修在モントリオール日本国総領事挨拶」
- 2 「総領事館からのお知らせ」
- 3 「寄稿文」
- 4 「領事便り」
- 5 「広報・文化便り」
- 6 「日本関連行事等のお知らせ」
- 7 「政治」
- 8 「経済」

* * * * *

1 伊澤修在モントリオール日本国総領事挨拶

モントリオールは紅葉も盛りを過ぎ、いよいよ冬に向かいます。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

ケベック市やモントリオール市ではレッドゾーンに入って自粛体勢が続いています。拡大傾向は抑制されつつも、今後の情勢について引き続き予断できない状態が続いていますので、皆さま、引き続きご注意ください。

このような状況下、総領事館の活動も相当抑制されたものとなっていますが、領事サービスと在留邦人の皆さんに必要な業務については、皆さんに不都合をおかけしないように通常通り進めています。

他方、残念ながら例年行われている様々なイベント、そして人々の往来については最大限の抑制がなされており、日・ケベック関係の強化もコロナの拡大による影響を受けています。

当分このような状況が続きますが、目下のところ安全を最優先として業務に取り組んで参ります。

早くこうした状況が改善することをお祈りしています。

2 総領事館からのお知らせ

- (1) 2020年11月の休館日のお知らせ
2020年11月 3日（火）文化の日

3 寄稿 ~茶道裏千家淡交会モントリオール協会及びケベック協会の活動紹介~

- (1) 茶道裏千家淡交会モントリオール協会

茶道裏千家淡交会モントリオール協会は、1981年4月に、故景森隆会長と景森宗葉副会長の下裏千家モントリオール同好会として会員数13名で発足いたしました。2006年クロード・ガニエ会長の就任とともに

に茶道裏千家淡交会モントリオール協会と改名され、現在の会員数は62名と相当数の会員を抱える協会に発展いたしました。会員は現地の方と日本人の方がほぼ半々の比率になっております。

淡交会は、14代家元淡々斎宗匠の斎号に因み命名されたもので、裏千家茶道の基本的な点前作法を統一し、同門の相互協力と親睦を目的とするものです。海外では出張所以外は協会と呼ばれますが、日本国内では一般的に支部と称されます。現在北米だけでも40か所以上の出張所と協会があります。

協会内の活動は、茶道において最も大事な行事である初釜式を祝うことから1年が始まります。初釜は日頃協会がお世話になっている方々や名誉会員をご招待する午前の部と会員同士で初茶を祝う午後の部に分かれます。午前の部ではご招待客様に点心を供した後手馴れた会員のお点前を披露させていただきお茶を差し上げます。午後は会員相互でお茶を点て合い和気藹々とお茶の世界のお正月ともいえる日を祝います。また年末には総会を兼ねて会員同士のコミュニケーションを図るためにクリスマス会なども行っています。

対外的な活動としては、1年を通じて要請があれば様々な場所でお茶のデモンストレーションを行います。恒例になっているものとしては、5月に行われるモントリオール植物園のお花見でのデモンストレーションで、会員の最も楽しみにしているイベントの一つであります。りんごの白い花の咲く木の下での野点や日本館でのお茶のサービスは会員同様楽しみにしてくださる人々も多いです。

また、1997年より続けております6月から9月の毎土曜日に植物園で行われるお茶のデモンストレーションと呈茶はリピーターのお客様も多くモントリオールにおける茶道の普及に一役かっていると信じております。

さらに2014年より日本国在モントリオール総領事館のご依頼により参加させて頂いておりますオタクソン(アニメコンベンション)では毎回200名以上の観客の方に茶道デモンストレーションを楽しんで頂いております。思い思いのアニメの衣装に身を包んだ若い観客の方々が熱心に茶道の点前をご覧になってくださるのを見るにつけ、現地の若い方々に少しずつでも茶道が浸透して行くことを願わざにおられません。他に小学校から大学までの教育機関において行った茶道紹介、モントリオール市や近辺の大小のコミュニティのイベントでの茶道デモ、老人介護施設でのデモ、東北大震災のためのファンドレージングのデモンストレーションなど様々な場所で茶道デモンストレーションを行い一碗のお茶を通して地域の皆様へお家元や大宗匠の理想とする「一碗からピースフルネス」の精神が伝達できたことと確信しております。

また、モントリオール協会ではこれまで数々の節目の創立記念日を祝ってまいりましたが、10周年におきましては、15代家元(現鵬雲斎大宗匠)のお姉上の故桜井宗養氏とご息女の桜井宗幸氏にご参加頂き大盛会となりました。さらに20周年、25周年、30周年も滞りなく祝賀の宴を設けることができ、京都の裏千家からお家元名代の業駄先生にお越し頂くなど多大なサポートをして頂きました。来年は40周年を迎えるべく準備を始める矢先にコロナ禍に見舞われ、残念ながら今のところ大々的な式典を行うのは不可能な状態ですので、コロナの収束とともに内輪の祝典だけでも実現できることを祈る日々です。

現在モントリオール協会では、オタワでの教室を含めて6ヶ所の教室を展開しており、それぞれの講師が、ほとんどのクラスで日、英、仏の言語で熱心に茶道の指導を行っております。ケベック市には茶道裏千家淡交会ケベック協会も10年前に発足し、当協会と協力し合いモントリオール市近郊だけでなくケベック州全体にこれからも千利休の「和敬清寂」の理念を浸透すべく一丸となり茶道を広めて行きたいと願っております。

茶道にご興味のある方は是非最寄りのお教室にお立ち寄り頂きお茶を一服召し上がってお寛ぎください。

茶道裏千家淡交会モントリオール協会
幹事長 小西真美子(宗真)

(2) 茶道裏千家淡交会ケベック協会の紹介

茶道裏千家淡交会ケベック協会は、2011年7月1日に鵬雲斎大宗匠様、坐忘斎御家元様からご裁可を頂戴し設立した107番目の協会で、ケベック州非営利団体に登録しています。会員

数は23人で、日本人が7人、ケベック人が16人、教室は2カ所です。

ア 発足

1987年ラヴァル大学図書館地下の日本館設立とともに茶道クラブを作りモントリオール景森宗葉先生に来ていただき10人程でお稽古をしておりました。その後2010年に京都裏千家にてケベック協会設立の申請書を提出し審査を得て2011年7月アンドレゴーバン会長の元に正式に発足しました。そして2012年に会員20名でお披露目とも言える「発会式」を行いました。慣例に従い裏千家代表をお迎えし、ケベック州政府の方々、当地文化関連の方々をご招待しなければなりませんでしたが予算も人脈もなく途方に暮れていたところ、2012年3月からケベック州立文明博物館で日本の甲冑や武器を展示する「サムライ展、バービエーミュラー氏コレクション」があるということを耳にし、当時のモントリオール総領事館文化担当官船津氏と博物館に通い、その開会式会場の一部を拝借し「サムライ展」の招待客をそのまま発会式にお招きできるよう博物館にお願いしました。

当日は、裏千家から御祝と320人分の抹茶、干菓子を頂戴し、州政府文化省代表ラフラー氏、総領事代理角田氏、裏千家国際部弘田氏からご挨拶を賜り、展示出品者のミュラー氏、博物館館長、淡交会モントリオール協会ガニ工会長、小西幹事長、景森先生をはじめとする300人の招待客に呈茶をする事ができ盛会の内に終了しました。在カナダ特命全権大使石川氏ご夫妻もお立寄り下さいました。また「サムライ展」の期間中9ヶ月間、毎週日曜日、同会場でデモンストレーションとワークショップをさせて頂きました。

イ 活動

当協会の活動は、会員同士の相互協力、親睦と茶道紹介です。初釜、茶事準備での和食、お菓子作りの勉強、野点の会、合同お稽古会、夕食会、デモンストレーション等を通じ会員間の絆を深めています。

茶道紹介活動は依頼を受けての有料の茶道紹介と体験、もう一つは、当協会が経費を負担し、学校、美術館、公民館など公共機関、大学日本語コース、お祭り、ケベック－日本友好協会新年会での茶道紹介です。また末期癌ホスピスや災害時の募金活動も行っています。当協会会員は無償で上記の茶道紹介活動を行っています。

紹介は、広く茶道を知って頂き、会員獲得の機会でもあり、招かれましたらどこへでも参ります。遠くは片道8時間のガスペ半島やアルマ市、モンマニ市など遠隔地でも行い、喜んでいただきました。また2014年、紹介をより効果的に行うべく、誰もが統一された説明ができるように「茶道紹介用パワーポイント」(仏語版)を作成し、茶道の歴史、茶室、お抹茶、お茶の飲み方等を正確に説明することができるようになりました。

2016年9月に大学図書館で学生、一般向けの「茶道コース」を再開しました。自宅から畳を持って行き、大学のウェブサイトで受講者を募り、毎週土曜日にお教えしています。公共の場で定期的に行い、習い続けていただくことは重要です。大学教室は、初級コースだけですが、ここで始めたケベック人が中級、上級の資格を取得し稽古を続けています。彼らは、着物や袴姿で熱心に学び、今では、当協会の大きな戦力となって活躍しています。嬉しい事にケベック市でもケベック人が茶道を教える日が間近です。

今年はコロナ禍で稽古も中止になりましたがゴーバン会長の提案で5月10日から102日間かけて「一碗からピースフルネスを」リレーを行いました。大宗匠様がご提唱された「お茶を通して平和な心を」という意味で、感染で会う事が叶わない大切な人に心を込めた一服を差し上げ、その写真をFacebookで贈り、頂いた方がまた別の方に贈ります。当初ケベック協会内で行っていましたがご賛同を得てビクトリア協会、バンクーバー協会、モントリオール協会、トロント協会とカナダ全土5協会102人がバトンを繋ぎ8月21日に終了しました。

その後、アメリカからの要望に応え9月1日北米諮問委員会ゴーバン氏のアナウンスで、御家元様が考案されたリレーを参考にさせていただいた新たな形の「北米茶道リレー」がスタートし、御家元様、大宗匠様からお言葉を賜り、ボストン協会を皮切りに北米36協会がバトンを繋いでいます。北米各協会の活動を毎日拝見しますと、同門としての親近感が湧き、1日も早く日常生活に戻れるよう願うばかりです。

2021年は当協会設立10周年です。モントリオール協会は40周年を迎えるとのこと、心よりお祝い申し上げます。その背中を追いつつ当協会も活動を続け、お仲間との友情を育んで参りたいと思います。同時に御家元様、大宗匠様のご指導の下、会員一同研鑽を積んでいく所存でございます。

茶道裏千家淡交会ケベック協会 幹事長 ゴーバン 雅美（宗雅）

4 領事便り

(1) 領事窓口の開館時間

当地における新型コロナウイルス感染の状況を踏まえ、当館の感染予防を徹底しつつも、在留邦人の皆さまのニーズに適切にお応えしていくため、本年4月1日より当面の間、以下のとおり領事窓口時間を短縮していますので、改めてお知らせいたします。

・領事窓口の開館時間

10：00～15：00（昼12：30～13：30を除く）

※9：00～10：00及び15：00～17：00につきましても、電話照会（緊急の場合）・メール対応を実施しています。

※来館時の注意点

本年3月25日よりケベック州政府の要請を受ける形で、当館が入居するビル管理会社側が、入居テナント従業員以外の入館を1階受付において制限しています（土日祝日等の休館時対応と同様の措置）。

当館へ来館される方につきましては、1階受付において、氏名とともに在モントリオール日本国総領事館への訪問理由を告げることにより、入館を許可されることとなっています。

(2) 本年度の領事出張サービスについて

新型コロナウイルス流行の影響により、現時点においては領事出張サービスの実施を見合わせている状況です。

今後、各州の状況を注視しつつ、行動・移動制限が緩和されれば、領事出張サービスの再開を検討しますので、在留邦人の皆さまにおかれましてはご不便をおかけしていますが、ご理解賜りますよう宜しくお願ひいたします。

(3) モントリオール日本語補習校からのお知らせ

「新小学一年生の保護者を対象にした入学説明会のご案内」

モントリオール日本語補習校では、新小学1年生（2021年4月入学希望者）の保護者の方々を対象とした入学説明会及び授業見学（オープンハウス）を開催致します。

当日、入学願書の配布がありますので当校に入学を希望される方は必ず参加頂きますようお願い致します。

なお、新型コロナウィルス感染症の影響で入学説明会の実施方法が変更となる可能性があります。

あらかじめご了承ください。

- ・開催日時：2020年11月7日（土）午前9:30～午前11:40
- ・場所：モントリオール日本語補習校（メトロ Guy-Concordia 駅から徒歩10分圏）

参加を希望される方は、11月1日（日）までに下記ホームページよりお申込み下さい。

<http://mtljpschool.web.fc2.com/>

ご不明な点は、下記モントリオール日本語補習校 E-mail アドレスにお問い合わせください。

連絡先：モントリオール日本語補習校 E-mail：mtljpschool@hotmail.com

5 広報・文化便り

当館では、日本関連行事に関する情報を随時募集しております。皆様ご自身が実施される日本関連行事のほか、知り合いの方についての情報を（culture@mt.mofa.go.jp）までお知らせください。毎月末までに原稿をいただければ翌月のメールマガジンに掲載することができます。ホームページへの掲載は随時行います。

（1）当館ツイッターアカウントの開設

当館ツイッターアカウントを開設しました。日本や当館の活動、領事情報、コロナ関連情報を随時発信していきます。フォローを宜しくお願い致します。

<https://twitter.com/JaponMontreal>

6 日本関連行事等のお知らせ

*以下の日本関連行事は、必ずしも当館が共催、後援、保証している行事ではありません。また、同行事にて表明される意見等は日本国政府の公式見解とは異なる内容を含み得ます。行事詳細については、各主催団体へ直接お問合わせください。

*外部のサイトへのリンクは、あくまでも皆様への御参考情報です。外部のサイトに掲載されている内容や信頼性に関しましては、当館は一切責任を負いませんので御了承ください。

（1）マギル大学音楽学院主催ベートーヴェン・オンライン・コンサート

マギル大学音楽学院ポーラックホールで行われるベートーヴェン・コンサートが同音楽学院Youtube チャンネルでお楽しみいただけます。マギル大学音楽学院ピアノ科橋本京子教授によるコーディネート及び演奏も含まれます。

○9月25日より10月23日まで毎週金曜日19時

<https://www.mcgill.ca/music/channels/event/schulich-concert-celebrating-beethoven-concert-4-324274>

（2）第9回トロント日本映画祭

今年はオンラインで開催されます。カナダ国内での視聴が可能です。

○10月3日（土）～22日（木）

○作品ごとに9.99加ドル

https://jccc.on.ca/ja/tjff/news_TJFF2020_annoucement

(3) 第49回ヌーボー映画祭

今年はオンラインで開催されます。日本映画も上映されます。

○10月7日(水)～31日(土)

<https://nouveaucinema.ca/fr/>

7 政治

(1) QC州

- ・9月3日、カナダ宇宙庁(CSA、本部QC州St-Hubert)は、2015年から同庁を率いてきたラポルト氏(Sylvain Laporte)の後任としてキャンベル氏(Lisa Campbell)が長官に就任する。女性長官は初。
- ・9月8日、ルゴー州首相はフォードON州首相と同州ミシサガで首脳会談実施。連邦政府に対する医療交付金増額要求、インフラ、景気回復等について意見交換。
- ・9月14日、モントリオールでマスク着用義務付け反対集会に数千人が参加。州政府非難やトランプ米大統領及び陰謀論団体QAnon支持のプラカード等が見られた。15日、プラント・モントリオール市長は、新型コロナウイルスとたたかう市民の努力を台無しにするとして、マスクなしで抗議集会に参加した人たちを強く非難。
- ・9月18日、ルゴー州首相とON・AB・MB各州首相はオタワで共同記者会見を実施。全ての州・準州を代表し、連邦政府の負担割合を22%から35%に引き上げるため280億加ドルの医療交付金増額を要求。
- ・9月22日、米ホワイトハウス等に猛毒リシン入りの郵便物を複数送付した疑いで、ケベック州在住女性が米当局に逮捕される。
- ・9月24日、前日に行われた連邦政権による施政方針演説について、医療等州の管轄事案に踏み込んだ言及が多々あったとして州議会を代表する全党がトルドー連邦首相を非難。
- ・9月29日、前日にジョリエットの病院で職員から差別的な言葉を受けながら亡くなったアティカメク(Atikamekw先住民族)女性Joyce Echaquanさんの追悼集会実施。参加者は、このできごとはQC州に構造的差別が確かに存在する証拠であると主張。

(2) NL州

- ・9月7日、ボール前首相が議員辞職を発表。これにともない10月6日の補欠選挙実施が決定。自由党からはフューリー新党首兼新首相が出馬する。
- ・9月9日、情報漏洩の疑いで捜査を受けていたギャンビン=ウォルシュ元大臣について、連邦警察は、背任にあたる証拠はなかったとして容疑を取り下げ。
- ・9月16日、州議会は、議員が乳児同伴で議会に参加することを可能にするための規則変更を満場一致で可決。
- ・9月17日、州上級裁判所は、州政府による新型コロナウイルス感染防止のための移動制限措置は妥当であるとの判決を下し、原告が敗訴。この裁判は2020年5月にNL州に住む母親が亡くなった時に同州の往来を許可されなかつたのは違憲であるとして、NS州ハリファックス在住女性が市民団体「Canadian Civil Liberties Association」と共にNL州政府を相手取って起こしていたもの。
- ・9月24日、連邦政府筋は、前日にトルドー連邦政権が行った施政方針演説で言及された「アトランティック・ループ」とは、QC・大西洋州をグリーンエネルギーでつなぐインフラプロジェクトのことであると発言。再生可能エネルギーの使用を増やし石炭の使用を削減することで、温室効果ガス排出量削減と同時に電気料金の長期的な安定化をはかるもので、実現すればNL州のコスト超過・工期遅延が続くマスクレットフォールズ水力発電所にとって大きな機会となる旨説明。
- ・9月30日、コーディ州財務大臣は2020年度の州予算を発表。歳入71億加ドル、歳出89億加ドルを予測。負債は164億ドルに増え、州民1人当たりでは3.1万ドルと国内最悪の水準。

予算はパンデミックのために半年遅れの発表となり、2021年度以降の見通しは含まれていない。

(3) P E I 州

- ・9月1日、バーン州N D P党首が辞任を発表。
- ・9月3日、ミッセル州自由党議員が辞任を発表。
- ・9月15日、州東部のThree Rivers町議会は、Great Wisdom Buddhist Institute仏教尼僧院の拡張計画を否決。同尼僧院はBrudenell地区の1.2平方キロメートルの土地に1,400人を収容できる施設建設設計画を発表していたが、同宗教施設の拡大が土地の値上がり等地域の住宅事情に与える悪影響について地元住民から懸念の声が上がっていた。
- ・9月22日、州内2つのミクマクコミュニティのチーフは、NS州のSipekne'katikファーストネーションが独自に商業漁業を開始したことを受け、自分たちも生計を立てるため独自の商業漁業を行うことを検討していると発表。
- ・9月25日、マイヤーズ州交通インフラ・エネルギー大臣は、テレワークをする州職員の割合を現状の16%から3分の1まで引き上げ、パンデミック終息後も同水準を維持したいと発言。
- ・9月29日、カナダ統計局によると、2020年7月現在の州人口は159,625人であった。人口伸び率はパンデミックのために例年に比べ大きく落ち込んだものの国内最高となり、2022年までに16万人を達成するという州の目標に近付いた。

(4) NS州

- ・9月1日、州政府は、高速インターネット提供エリアを2022年夏までに州内97%に拡大するための環境整備を進めると発表。ベル・カナダが100を超えるコミュニティ、32,000世帯・企業に高速インターネットを提供する。
- ・9月1日、連邦政府は、かつて存在した先住民の子供向け寄宿学校制度は国全体の歴史に関わる重大なできごとであることを認めると発表。それにともないShubenacadie Residential School(州中央部)を含む国内2ヶ所の学校跡を国の史跡に指定する。
- ・9月2日、州政府は、ファンディ湾のエネルギー海洋研究所(Fundy Ocean Research Centre for Energy(FORCE))に地元企業BigMoon Canada Corporationの入居を許可。同社はそれと引き換えに、別の潮力発電研究企業(Cape Sharp Tidal Venture)の破綻にともない2018年から水中に放置されている巨大タービンの撤去を請け負う。
- ・9月9日、連邦政府は、ファンディ湾で行われる複数の潮力発電プロジェクト支援のため960万加ドルを支出すると発表。支援金は企業や研究機関による研究や小型タービン設置等に使われる。
- ・9月16日、ウィルソン州環境大臣は、次期総選挙に出馬しない意向を表明。
- ・9月17日、Sipekne'katikミクマク・ファーストネーションが州西岸Saulniervilleで、独自のライセンスを設立し連邦政府が定める漁期外にロブスター漁を開始、ミクマクとそうでない商業漁業者との間で緊張が高まる。このミクマクの動きは、「ファーストネーションは生計を立てるために適当な範囲で漁業を行って良い、ただし連邦政府はその漁を規制する権限を持つ」と示した、1999年のカナダ最高裁判決(Marshall decision)が根拠となっているが、「生計を立てるのに適当な範囲」の定義は明確ではない。

これについてトルドー連邦政権は今までに3ファーストネーション(QC1、NB2)と合意を締結済みだが、NS州ではまだどのファーストネーションとも合意に至っていない。18日、NSミクマク議会は非常事態宣言を発出。22日、ジョーダン連邦漁業大臣とベネット連邦先住民関係大臣は、ミクマクには生計を立てるために適当な範囲で漁業を行う権利が憲法で保障されているとし、ミクマクに対する威嚇・破壊行為を非難する共同声明を発表。

- ・9月24日、州政府は、ウーバーやリフトといった配車サービスが進出しやすいうに新たなカテゴリーの運転免許(Class 4)を設立。
- ・9月29日、マクニール州首相は、州の司法制度には構造的差別があるとして黒人と先住民に対して謝罪。全レベルの政府とコミュニティの代表からなる共同グループが今後12~18ヶ月間かけて州の警察・公安制度のあり方を協議する。

(5) NB州

- ・9月14日、新型コロナウイルス・パンデミック始まって以来国内で初めて実施された州議会総選挙の結果、与党進歩保守党が過半数を2議席上回る27議席を獲得し多数派政権となる。各党の獲得議席数は次の通り(総議席数49):進歩保守党27(改選前20(以下同じ))、自由党17(20)、緑の党3(3)、ピープルズ・アライアンス2(3)。24日、州選挙管理委員会によると、投票率は66%で前回総選挙(2018年)とほぼ同じ水準であった。また期日前投票を行った有権者数は過去最高となり、全体の52%にあたる13.3万人であった。
- ・9月14日、初出馬のケヴィン・ヴィッカーズ州自由党党首はミラミシ選挙区でPA現職議員に敗北、党首を辞任すると表明。28日、ヴィッカーズ氏に代わり、ベテランのムランソン議員が暫定党首に就任。
- ・9月21日、連邦政府はNB・ON両州の産業界向け炭素税制度を承認。ウィルキンソン連邦環境大臣は、NB州の制度で実現できる温室効果ガス排出削減量は連邦のそれよりも下回るとし、2022年には削減目標を再度引き上げる必要があることを指摘。
- ・9月29日、新内閣発表。カーディ教育大臣が留任となつたほかは大幅な改造。6人が閣僚落ち。女性閣僚は過去最多の16人中6人に。
- ・9月30日、フレデリクトンで唯一中絶手術が受けられるクリニック(Clinic 554)を支援し閉鎖に反対する手紙に連邦上院議員36人が署名。

(6) 各州世論調査結果(未確定分は除く)

ア 州議会選挙(政党支持率)

- ・QC州(レジェ(Leger)調べ、9月1~3日):ケベック未来連合(CAQ)48%、自由党(PQ)22%、ケベック党(PQ)17%、ケベック連帯(QS)11%、その他3%
- ・NL州(MQO調べ、8月19日~9月6日):自由党53%、進歩保守党(PC)33%、新民主党(NDP)11%、NLアライアンス1%、その他3%
- ・NS州(ナラティブ・リサーチ(Narrative Research)調べ、8月5~26日):自由党47%、PC27%、NDP19%、緑の党6%
- ・NS州(MQO調べ、8月25~31日):自由党41%、PC30%、NDP19%、緑の党9%、その他1%
- ・NB州(マクリーンズ・メインストリート(Mainstreet/Maclean's-338Canada)調べ、8月27日):PC38%、自由党32%、緑の党19%、ピープルズ・アライアンス(PA)7%、NDP4%
- ・NB州(MQO調べ、8月12日~9月2日):PC43%、自由党27%、緑の党17%、NDP6%、PA5%、その他2%
- ・NB州(Forum Research調べ、9月9~13日):PC37%、自由党30%、緑の党21%、PA8%、NDP4%、その他1%
- ・NB州(Mainstreet Research調べ、9月11~12日):PC37%、自由党30%、緑の党21%、PA7%、NDP4%、その他1%
- ・NB州(EKOS Research調べ、9月8~12日):PC32%、自由党32%、緑の党18%、PA10%、NDP4%、その他4%

イ 連邦議会選挙(政党支持率)

- ・QC州(レジェ(Leger)調べ、9月1~3日):自由党30%、ブロック・ケベコワ(BQ)30%、保守党20%、新民主党(NDP)14%、緑の党5%、その他1%
- ・NL州(MQO調べ(以下同じ)、8月19日~9月6日):自由党55%、保守党31%、NDP10%、緑の党1%、PPC1%、その他1%
- ・NS州(8月25~31日):自由党49%、保守党29%、NDP16%、緑の党6%、PPC0%、その他0%
- ・NB州(8月12日~9月2日):自由党42%、保守党31%、緑の党14%、NDP9%、PA10%

P C 1 %、その他 3 %

8 経済

(1) QC 州

- ・9月9日、航空機エンジン製造のプラット&ウィトニー・カナダ（以下P & WC、ロングイユ）は、中国航空大手AVIC向けに商品を輸出するための承認を連邦当局から取得できていないとの報道。P & WCは2017年にAVICの地方輸送用の新型ターボプロップエンジン機（MA700）に使用するモーター（PW150C）を納入する30億ドルの契約をAVICと締結しており、既に最初の4台の出荷準備ができているが、中国による知的財産盗用や軍事使用を懸念する連邦外務省からの認可が下りないという。
- ・9月10日、ハイドロケベックと米自動車部品大手デーナとの合弁企業 Dana TM4 は、2、500万ドルを出資しインドで初の電気モーター製造工場を建設する。
- ・9月14日、ストーノウェイ・ダイヤモンズ（Stornoway Diamonds）は、少なくとも3、000万加ドルのコスト削減を条件に、2020年3月から停止している州北部のダイヤモンド鉱山の操業を9月末までに再開する。同社にはケベック投資公社（IQ、35%）とケベック貯蓄投資公庫（CDPQ、16.9%）が出資している。
- ・9月15日、米国が、8月に発動したカナダ産アルミに対する10%の追加関税を撤廃。
- ・9月16日、2014年にリオ・ティントのアルミ事業の一部を取得したShawinigan Aluminium は、1、000万加ドルを投資しアルミのリサイクル事業に本格的に進出。
- ・9月18日、Transition energetique Quebec（エネルギーのイノベーションを支援・促進する州公社）がQC州における「グリーン水素」開発について8月に発表した報告書によると、同州には主要関連企業が進出しており、グリーン水素に対する世界的な需要も高まっているという強みや機会はあるが、関連インフラ建設やテクノロジーのコストが高く、同セクターに対する政府の規制枠組み改正のスピードが遅い等の課題も多い。
- ・9月23日、フィッツギボン州経済大臣は、州はリチウム電池による電化産業確立のために最大14億加ドルを支出する用意があると発言。採掘・抽出から加工、電池の生産・リサイクルまでを州内で行いたい考え。
- ・9月24日、シルク・ドゥ・ソレイユ創立者であるギ・ラリベルテ氏は、モントリオールのゲーム開発会社リフレクター（Reflector Entertainment）をバンダイナムコに売却。リフレクターは2016年に創立され従業員数は120人。2021年に第1作「Unknown 9 : Awakening」をリリース予定。
- ・9月28日、連邦政府は中国による産業スパイの標的となるリスクがあるとして、ケベック投資公社（IQ）が3、000万加ドル出資する、貨物飛行船開発の仏企業フライングホエールズ（Flying Whales（FW））のケベック州子会社設立を許可せず。FWは中国・航空機製造の中国航空工業集団（AVIC）が出資しており、AVICは中国軍に管理されているとの疑惑がある。

(2) 大西洋州

- ・9月22日、大西洋州11空港によるカナダ大西洋空港協会（Atlantic Canada Airports Association）は、2020年は乗客数550万人減、収入は7、600万加ドル減となる見込みであると発表。4月から8月にかけては前年同時期に比べ92%の減便となった。

(3) NL 州

- ・9月9日、石油大手のハスキーエナジーは、ニューファンドランド島沖に建設中のホワイトローズ油田拡張プロジェクトを見直すと発表するとともに、連邦・州政府に対して同プロジェクトへの出資を要請。3年前に始まった22億ドル規模の同プロジェクトは既に60%完成しているが、新型コロナウイルス・パンデミックと原油価格の大幅な下落のために2020年3月から建設が中断していた。さらにハスキーはホワイトローズだけではなく、大西洋全体の今後のオペレーションを見直していることを表明。25日、連邦政府は同州のオフショア石油業界支援のため3.2億加ド

ルを支出すると発表。3. 2億加ドルは連邦政府が8. 5%保有している同州の別のオフショア油田「ハイバニア」の配当金。今後州政府は特別タスクフォースを設立しこの支援金の使い道を決める。

- ・9月11日、ロボティクス企業クラッケン(Kraken)は、デンマークとポーランドの海軍向け地雷探知装置供給のため、デンマーク国防省から3,600万加ドルの契約を獲得。
- ・9月14日、フェリーの船長組合と州政府との間の労使交渉で仮合意に達し、8月25日から続いているストライキが終結。
- ・9月23日、州エネルギー公社ナルコーは、前日にマスクラットフォールズ水力発電所からラブラドールの電力網への送電が始まったと発表。
- ・9月28日、ナルコーは、マスクラットフォールズ水力発電所プロジェクトのアップデートを発表。パンデミックのためにコストはさらに4億加ドル増の130億加ドル超、フル稼働はさらに10ヶ月遅れの2021年秋となる見込み。

(4) P E I 州

- ・9月3日、州環境省は、州公社P.E.I. Energy Corporationによる州東端Eastern Kingsの風力発電所拡張プロジェクトを承認。新たに7基の風力タービンを設置して、30メガワットの電力を近隣地域に供給する計画。
- ・9月14日、州政府は、2021年3月1日からのフレーバー付き電子タバコの州内販売禁止を承認。
- ・9月26日、カナダ統計庁によると、7月の州内のレストランの収入は前年同期比でマイナス34.6%となり、カナダ平均のマイナス24.5%を大きく下回り国内最悪の落ち込みとなつた。

(5) N S 州

- ・9月8日、水産大手クリアウォーター(Clearwater)は、同社が独占している沖合の第41ロブスター漁区8ライセンスのうち2ライセンスをケープ・ブレトンのMembertouファーストネーションに2,500万加ドルで売却。漁自体は引き続きクリアウォーターの漁船が行う。第41区は国内で唯一クオータ制を導入し年間を通してロブスター漁が行える場所。
- ・9月28日、ダートマウスのSona Nanotechは、同社が開発した新型コロナウイルス抗原検査についてカナダ保健省からの承認を待っている。15分以内に結果が出るもので、この方式の検査を開発したのはカナダ国内初のこと。
- ・9月29日、ピアリダイ・エナジー(Pieridae Energy、本社カルガリー)は、7月に州東部ゴルドボロ液化天然ガス(LNG)プロジェクトから撤退したKellogg Brown & Rootに代えBechtel Corp.に工場建設を発注。

(6) N B 州

- ・9月25日、世界の大手銀行によるマネーロンダリング(資金洗浄)に関するFinCEN文書(FinCEN files)と呼ばれる資料に出てくる、活動が不透明な企業の中にはNB企業が含まれるとの報道。カナダ、とりわけNB州はペーパーカンパニーを設立しやすい環境にあるという。

[在モントリオール総領事館メールマガジン]

○このメールマガジンは送信専用アドレスから送信されています。本メールにて直接返信なさらないようお願いいたします。本メールマガジンに関するご意見・ご要望は以下のメールアドレスにて送信してください。emagazine@mt.mofa.go.jp

○配信中止・配信先変更を希望される方は、「配信中止(又は登録解除)」、「配信先変更」を希望する旨明記の上、emagazine@mt.mofa.go.jpまでご連絡願います。登録完了後に確認のメールが届きます。

ただし、在モントリオール総領事館ホームページ内の読者登録ページから登録を行った方は、同

ページ内の、「利用者情報の変更／削除」から同様の手続きが行えますので、そちらをご利用ください。

○バックナンバーの閲覧は、以下のホームページからお願ひいたします。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/mailmag.html

○参考ホームページ

首相官邸ホームページ（www.kantei.go.jp）

外務省ホームページ（www.mofa.go.jp/mofaj/）

在カナダ大使館ホームページ（www.ca.emb-japan.go.jp）

当館ホームページ

（https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html）

当館 Facebook（www.facebook.com/JapanConsMontreal）

○発行：在モントリオール日本国総領事館

Consulate General of Japan in Montreal

1 Place Ville Marie、 Suite 3333,
Montreal、 Quebec、 H3B 3N2、 Canada

○本メールマガジンからの転載を希望する場合は総領事館メールマガジン担当

（emagazine@mt.mofa.go.jp）までご相談ください。

